

地歴公民(地理) 東京大学 (前期) 1/3

第1問

5 10 15 20 25 30

設問A

(1) Aーフィンランド Bー中国 Cーパキスタン
Dーナイジェリア

- 5 (2) 乾燥気候で農耕は困難であるが牧草は得られ、環境に適応した羊などの家畜の遊牧が盛んで、その乳を伝統的に飲用していたため。
(3) 馬などの遊牧が盛んな地域で、その乳を夏の高温を活かして発酵させ、酒やヨーグルトなどに加工することで乳糖を減らした。
(4) 伝統的に稲作が盛んな地域で、精白米は他の穀物よりアミノ酸スコアが高いことから、乳製品の摂取の必要がなかったため。

10 設問B

(1) Aー北米 Bー独立国家共同体 Cー中東

(2) シェール

(3) アジア太平洋ーウ 独立国家共同体ーエ ヨーロッパーカ

- 15 (4) 生産量が多く輸出余力のある中東地域に依存している石油に対して、天然ガスは輸送コストの高いLNGを、近距離にあり生産量が急増しているアジア太平洋地域の国々から輸入している。

地歴公民 (地理) 東京大学 (前期) 2/3

第2問

5 10 15 20 25 30

設問A

(1)深海底には未開発のエネルギー資源や鉱産資源などが多く埋蔵されており，技術革新により開発が進むと考えられるため。

(2)アーアジア イー南アメリカ エーヨーロッパ

5 オーストラリア

(3)新期造山帯に属する高峻な山脈や高原の割合が高いため。

(4)湿潤なエは森林が広がり耕地などの利用が多く，乾燥地のオは砂漠やステップが広がり，放牧地などに利用される。

設問B

10 (1)アフリカ大陸

(2)経済発展が進み出生率が低下したケ国やコ国に比べ，政情不安などで工業化の遅れたイ国は生活水準が低い貧困層が多く識字率が低いため，高い出生率が維持され人口変化率は高く推移している。

15 (3)人口抑制政策が実施されたシ国は1980年代に人口変化率が低下したが，カ国は経済成長に伴い2000年代以降人口変化率が低下した。

(4)移民の流入に加えその出生率が高いサ国は，人口変化率があまり低下せず，少子高齢化が進んだセ国は自然減少に転じた。

地歴公民(地理) 東京大学 (前期) 3/3

第3問

5 10 15 20 25 30

設問A

- (1)ニューオーリンズ
- (2)アーミシシッピ イーデルタ (三角州) ウー自然堤防
- (3)流域で生産される農産物の集散地で、その積出港であったため。
- 5 (4)所得水準の低い黒人が、後背湿地など洪水に脆弱で湛水期間の長い低湿地に集住し、その地域への復興支援が後回しになったため。
- (5)水不足や海水の逆流による水質悪化が農業や工業に影響を与え、港湾や内陸水運の機能が低下し物流や観光業が打撃を受ける。

設問B

- 10 (1)都市化に伴い人口密度が上昇し、都市内部の移動量が増えて、それまでの路面電車の輸送力では対応できなくなったため。
- (2)モータリゼーションが進展したことで発達した都市で、人口増加の時期が遅かったうえ、すでに道路網が整備されていたため。
- (3)自動車の増加に伴い交通渋滞や大気汚染が深刻化したこと。
- 15 (4)経済成長により高額な建設費用が確保されるようになったうえ、外国から高度な建設技術の導入が進んだため。